# 東北福祉大学　研究推進の方針

本学は、建学の精神に基づく理念・目的の実現のために、研究推進の方針を次の通り定める。

1. **研究の多様性**

   研究者の知的探究心や自由な発想に基づく多様で独創的な研究を推進する。

2. **特色ある研究の推進**

   持続可能な共生社会実現のために、福祉・心理・情報・教育・健康科学など本学の専門性を活かした研究拠点の形成と異分野融合研究を目指す。

3. **地域や社会への貢献を目指す研究**

   地域社会や実践現場の課題解決に資する研究を行い、連携・対話を積極的に行いながら研究成果の社会還元を目指す。

4. **研究と教育を両輪とした展開**

   研究と教育を両輪として、教職員と学生が共に研究を行い、現代の課題解決と未来の社会に貢献できる研究的姿勢をもった学生を育成する。

5. **公正な研究活動の遂行**

   誠実さ、正確さ、他者の尊重を基礎とする研究倫理や関連法令を遵守し、高い倫理意識をもった公正な研究活動を遂行する。

6. **研究成果の公開・発信**

   研究成果を学内外に積極的かつ効果的に公開・発信し、社会に知的な貢献をめざす。

7. **研究データの管理・公開・利活用**

   研究者が研究データを適切に管理・公開・利活用するための支援に努める。

8. **研究環境・研究推進体制の整備**

   多様で特色ある研究を継続して行うために、人的・物的な研究環境や研究推進体制を整備し、その効率的な活用に努める。

9. **点検・評価と質の向上**

   客観的かつ多面的な視点で研究成果および研究推進体制を点検・評価し、その質の保証と向上に努める。

附　則

1　この方針は、令和４年４月１日から施行する。